

多治見市の青少年育成だより

～ 未来を担う子どもたち 地域で守り育てよう ～

2025年
Vol.18

発行 多治見市青少年まちづくり市民会議
多治見市青少年育成推進員会議
多治見市教育委員会事務局教育推進課

「多治見市青少年まちづくり市民会議」は、地域のイベントなどを通じ、子どもたちが楽しく過ごすことができるよう、さまざまな体験の機会や子どもたちが自分の考えを発表する場を提供しています。この青少年まちづくり市民会議は、青少年健全育成を推進するために平成5年に組織されました。その後、各13小学校区に「校区青少年まちづくり市民会議」が設置され、子どもに関する機関や各種団体と連携し、地域ごとの特性や特色を生かした活動を行っています。

重点活動として、「挨拶で絆の日」運動と花いっぱい運動の2つを行います。7月1日と11月1日に開催する「挨拶で絆の日」は、「挨拶によって絆を築くことができるまちをつくりたい」という子どもたちの意見から始まった挨拶活動です。また、「花いっぱい運動」は、花を種から育て、地域の方にその苗の「里親」になっていただくことで、地域の交流を促進し、きれいなまちをつくることを目的とした活動です。

この冊子は、青少年まちづくり市民会議の活動を紹介することで、より多くの皆さんに青少年まちづくり市民会議の活動をご理解いただき、子どもたちと行事に参加すること、子どもたちを守り育てることを地域で考えていただく機会になると考え、発行しています。



挨拶で絆の日

各校区青少年まちづくり市民会議の活動紹介

養正校区青少年まちづくり市民会議

養正校区青年の主張大会 令和6年6月8日養正小学校体育館

例年、養正公民館で行っていましたが工事の為、使用できないということで養正小学校体育館で養正校区わたしの主張大会を開催しました。中学生4名、小学生4名の方に出場していただきました。

また、9名の中学生ボランティアにお手伝いいただきました。

アトラクションに多治見中学校の吹奏楽部に演奏していただきました。



挨拶で絆の日（令和6年7月1日、11月1日）

養正小学校と多治見中学校。みんな元気に挨拶をしていました。



毎月第3土曜日に行われる銀ブラ市に参加しました。



今年度で坂上児童館が閉館になる為、たくさんお世話になった児童館に集まって「ありがとう坂上児童館 みんなあつまれ感謝祭」を11月23日に開催しました。



養正校区では、例年2月～3月に「三ツ池の森に親しむ会」を開催しています。しいたけの菌打ち体験や三ツ池の森の散策等、自然に触れ合う企画をしています。



花いっぱい運動 令和6年6月16日、12月15日

花いっぱい運動では、種まきから苗の植え替えまでを養正小学校の子ども達に手伝ってもらっています。



精華校区青少年まちづくり市民会議

精華校区では、九つの区の町内会から選出いただいた青少年委員さんが、市民会議行事を手伝います。町内会では青少年委員の選出に皆さん苦労されており、町内会長が兼務されている地域もあります。

年度初めに青少年委員になられた方を対象に説明会を開きます。「文化」「交流」「創作」「環境」の四つの事業委員会の活動報告を聞いていただき、自分がどこに入るかを決めていただきます。どの委員会も事業実施に向けた夜の会議を数回開催するため、青少年委員さんにはご足労をかけています。会議に加え、事業当日には青少年委員さんには色々なお手伝いをさせていただきます。事前準備はもちろんのこと、参加したお子さんたちの見守りにも気を配っていただいています。本部役員だけではとても事業の成功は見込めません。青少年委員さんあつての市民会議になります。

このように、精華校区では九つの区の協力があつて現在まで事業を進めてきましたが、高齢化の波は市民会議にも及んでいます。本部役員はもちろんのこと、町内選出の役員さんも高齢化しており、この先今まで通り事業が続けて行けるか不安な状況もありますが、参加したお子さんたちの笑顔や、保護者の皆さんからの続けてほしいという意見を糧に、持続可能な市民会議を目指していきます。



親子工作



夏祭り



餅つき大会



精華ぼらんていあキッズ

共栄校区青少年まちづくり市民会議

令和6年度、共栄小学校で「学校運営協議会」が立ち上げられ、私ども共栄校区青少年まちづくり市民会議もこの協議会メンバーとして、1年間活動してきました。

小学校と地域住民の皆さんと力を合わせて、学校運営に取り組んでいます。一方で、まちづくり市民会議が主催する事業に共栄小学校の生徒の皆さんが参加していただくことで、地域の皆さんと一緒に特色あるまちづくりを進めていきます。来年度は、小学校の皆さんにも子どもスタッフとして1年間に亘り私どもの事業にご参加いただき、よりよい校区活動を行ってまいります。

今年度の活動を報告する「青少年まちづくり市民大会」が2月15日（土）にバロー文化ホールで開催されました。共栄校区は、発表の機会をいただきましたので、中学生スタッフ2人が年度当初からすべての事業の運営に参加し、市民大会の発表準備に取り組みました。今年の事業では、「わたしの主張大会」や「ふれあい文化祭」で司会の大役を努めました。発表では、練習の成果を十分に発揮して、共栄校区の事業活動について中学生スタッフの目で見たままにわかりやすく説明し、館内の皆様に伝えることができました。

1年間の活動について、2人とも「やりがいを感じた」と述べていたことから、大切な経験の1つとなったことと思います。



青少年まちづくり市民大会



ふれあい文化祭



花いっぱい運動



昭和校区青少年まちづくり市民会議

令和6年度の昭和校区のトピックスは5年ぶりに開催された校区伝統行事『第十九回 百人一首かるた取り大会』です。

行事の形態上、密になってしまうため、新型コロナの感染拡大の間は中止になっていました。久しぶりの開催で、子供達の参加は少なめでしたが、ご来賓としてお呼びした議員様も参加していただき、楽しく過ごせました。

コロナ感染拡大時の令和4年度5年度は、密にならないように『ハッピースポーツデー』という軽スポーツ大会を行なっていました。今年度はかるたとり大会再開の為、ハッピースポーツデーは中止になりましたが、子どもたちは体を動かすことが楽しいようで、『ハッピースポーツデー』もやりたいという要望が子供達からありました。そこで、各区長様、体育委員様と検討会を開き、来年度から真夏を避け、秋に『ハッピースポーツデー』を年間行事に加えて行うことになりました。

地域で輝く子供達のために、子供達とよく話をして、健全育成活動をこれからも継続していきます。



区長賞



百人一首の様子



読み札係の子どもスタッフ

小泉校区青少年まちづくり市民会議

小泉校区では「がさがさ探検」を6月26日に実施しました。小泉小学校2年生が2学級ずつ2回に分かれて、古川犬猫病院の前の大原川に集まり、そこに生息する生き物を捕まえました。

朝先生や市民会議のスタッフに見守られながら学校から川まで移動しました。ライフジャケットを着用した後、土岐川観察館の方に川に入る際の注意事項を教えてくださいました。

川に入っても初めは上手く生き物を捕まえられませんでした。仲間同士教え合ったり、周りの大人に教えてもらったりすることで、魚やエビを捕まえられるようになりました。

川から上がると、エビやカワヨシノボリ、オイカワ、アブラハヤ、オタマジャクシ、アメンボ、ヤゴなど、捕まえた生き物をみんなで観察したり、土岐川観察館の方から生き物にまつわるお話を聞いたりしました。

子供たちは、「楽しかった」「ペアの子に教えてもらったから魚が捕れたよ」などと話してくれました。

子供たちにとっては、地域に流れる大原川にもいろんな生き物がいることを知ることができた貴重な体験だったと思います。この活動が地域の環境について考えるきっかけになることを期待しています。



池田校区青少年まちづくり市民会議

当校区では年間を通じて5回の行事を行いました。

7月1日と11月1日に街頭活動「挨拶と絆の日」として小学校登り口にて挨拶運動を行いました。

6月1日には「私の主張大会」校区大会を開催し、多治見市大会に参加する代表を選抜いたしました。いずれも甲乙つけがたい発表でした。発表者それぞれの感性・想いが良く表現できていました。

11月9日には池田小学校PTA親子ふれあい事業の映画祭を行いました。本年は鴨の一家が初めての大移動に乗り出す姿を描いたファミリーアドベンチャー「FLY!/フライ」を上映しました。「じっとしていたら“はじめて”と出会えない。といった副題にあるように子供たちも色々な体験をして欲しいと思いました。キッチンカーも出し親子の触れ合いも出来ました。

12月21日には毎年恒例の和だこ作りを開催しました。近年たこ揚げをする子も場所も減っており、伝統の遊びを継承する意味でも今後も継続したいと思います。

当校区青少年まちづくり市民会議として、今後もまちぐるみで子供どうしの触れ合い、親子の触れ合い、地域での触れ合いの活性化を目指して新たな事業も考えながら活動したいと考えます。本年度の委員の皆様・校区区民の皆様のご協力と参加に感謝するとともに、今後のご理解ご協力をお願いいたします。



挨拶運動



わたしの主張大会



親子ふれあい事業



和風作り

市之倉校区青少年まちづくり市民会議

「かるた」と聞くとお正月が連想されますが、風が冷たい1月ではなく、「秋」に「ジャンボかるた取り大会」を開催しました。市之倉にまつわる読み句に併せて描かれた絵は、今ではママやパパになった卒業生が小学生だった頃の絵。子どもスタッフ出身の高校生2人が読み句を言うと、参加者たちはいっせいに絵札を探して運動場を走り回っていました。学年別対決では、大きな「かるた」を抱えて、嬉しそうに中学生に見せに行く低学年の姿もありました。

年の始まり、恒例になった【どんど焼き】は、前日の雪もとけてたくさんの人で賑わいました。準備した「菓子袋」150個は、来場した子ども達に配りました。

また、特大菓子袋を賭けて、子供からお年寄り【みんなでジャンケン大会】を開催しました。ジャンケンで子供に勝って、嬉しそうに菓子袋を持って帰るおばさんをうらやましそうに見つめる小学生。お父さんがポンと肩を叩いて、手をつないで「ぜんざい」をもらいに行く姿がありました。特大菓子袋は3個準備し、ジャンケン大会は続けて3回しました。たくさんの方々参加されて、とても盛り上がりました。

今年度、市之倉校区青少年まちづくり市民会議の行事は、無事に事業計画どおり終わることができました。ありがとうございました。



滝呂校区青少年まちづくり市民会議

事業としては、ほぼ例年と同じでしたが、今年度は各行事を計画する段階から多治見中学校の生徒に参加してもらい会議、準備などを行いました。

来年度も一緒に活動できる小・中学生、高校生、社会人を募集します。よろしくお願いします。

毎年好評を頂いております『さかなつかみ大会』は、事前に参加申込みをして頂いておりますが、従来通り回覧での申込みに加え、スマホ等でQRコードから申込みいただけるようになりました。

捕まえて持ち帰っていただける魚の数が昨年より少なくなったのは残念でした。

12月に行われた、『ふらっとスポレクまつり』では昨年までの軽スポーツ中心のイベントから、もっと気軽に楽しんでもらえるような内容になり、未就学児のお子さまから大人まで多くの方に来場いただきました。

今年度当校区の行事に参加いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



南姫校区青少年まちづくり市民会議

今年度は、コロナ禍が明けた活動ができ、以下の5つの活動ができました。

- 1.南姫校区わたしの主張大会:6月1日(土)
- 2.サマーわんぱくまつり:8月18日(日)
- 3.ひめっこ映画会:11月17日(日)
- 4.どんど焼き:1月12日(日)
- 5.挨拶で絆の日:7月1日(月)・11月1日(金)

わたしの主張大会は、多治見市の大会において、中学生の部で南姫校区代表者が最優秀賞を獲得し、東濃大会に選出されました。

サマーわんぱくまつりは、昨年度の参加人数が2割増しとなり、冷房の効いた南姫公民館内で、夏休みの思い出づくりができました。また、当日の様子がオリベケーブルTVで放映されました。

ひめっこ映画会は、「長ぐつをはいたネコと9つの命」のアニメを南姫公民館の大型スクリーンに投影し、幼児の方は寝転がって見ることができ、参加者は楽しく笑い声が聞こえて大変好評でした。

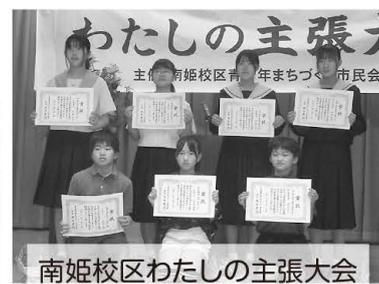
どんど焼きは、豚汁・紅白餅の無料配布があり、約200名の参加者がありました。子供たちは、あそびコーナーで楽しくあそんでいました。また、今年は、多治見市の防災非常食のシチューとクッキー試食会を実施し、約100人の方に提供でき、みなさん美味しいと好評でした。保存期間が25年の非常食で水を入れて温めるだけで食べることができました。今年は、南姫中学校のボランティアの方に多数参加して頂きました。



サマーわんぱくまつり



どんど焼き



南姫校区わたしの主張大会



ひめっこ映画会



挨拶で絆の日

根本校区青少年まちづくり市民会議

根本校区青少年まちづくり市民会議では、5月の「みんなで芋苗植え」を皮切りに6月「わたしの主張校区大会」7月「挨拶運動」8月「こども座禅会」「子ども遊び広場」「川遊び魚つかみ大会」10月「みんなで芋掘り」11月「挨拶運動」「餅つき大会」12月「しめ縄・リース作り」年が明け1月には「昔遊び・どんと焼き」3月「歩こう遊ぼうクイズ王決定大ウォーキング」など、地域や学校と連携し、子どもボランティアとともに諸事業を実施できました。

地域との連携や協働により、校外活動でも青少年健全育成活動の機会を活用し、「未来を担う子どもたち 地域で守り育てよう」の目標や今年度スローガン「地域でいかそう子どものパワー」が地域住民の方々に、ゆっくりではありますが意識づいてくることを期待しています。



しめ縄・リース作り 12月



餅つき大会 11月



みんなで芋掘り 10月



川あそび 魚つかみ 8月

北栄校区青少年まちづくり市民会議

北栄校区青少年まちづくり市民会議は子どもたちに普段経験ができないことをやらせてあげたいとの思いで毎年魚つかみ取り大会を開催しています。年中～中学3年までが参加対象となるので、子どもたちは年々魚を捕まえることが上手になっています。今年の最高記録者は35匹でした。魚を捕まえて終わりではなく、自分でハラワタの処理をしたり、焼いたり、煮たりやれることを増やしていってくだらいいなと思っています。

また今年のはじめて「五平餅マスターになろう」というイベントを児童センターと行いました。たれの材料の落花生、くるみなども一つ触り、食べてみて確認し、使う機会が少ないすり鉢・すりこぎで粘りが出るまですり、たれも作りました。勿論ご飯も自分で棒につけて成型し表面もバーナーであぶり香ばしく焼き上げました。来年度も新しいイベントを計画しています。イベントに参加し、色々な経験をし、自分のものにしてもらいたいと思っています。

200名以上が参加した魚つかみどり大会



ハッピーフェスティバルでの水鉄砲ブース



子どもスタッフによる花苗植え

脇之島校区青少年まちづくり市民会議

今年度の脇之島校区まちづくり市民会議は、脇之島小学校児童28名、南ヶ丘中学校生徒22名の子どもスタッフと一緒に活動しました。

「わたしの主張大会」では、発表者が発表し易いようにそれぞれの役割をこなすスタッフの姿が見られました。審査発表までの会場を繋ぐアトラクションでは、初めての試みとして子どもスタッフ全員が主役となり会場を巻き込んで「あたまおしりゲーム」という言葉合わせパネルゲームを行い、アドリブありダンスありで子どもたち自ら楽しみ会場を大いに盛り上げました。

夏休みには、児童センター行事の七夕、幼児水遊び、お化け屋敷を中学生スタッフがお手伝いしました。特に「お化け屋敷」では前日の準備から当日まで大活躍。お化けに扮したスタッフを見ると、子ども達は怖いもの見たさで大はしゃぎ。子ども達に喜んでもらえて大満足でした。

新年を迎え、ホワイトタウンの伝承行事である「区民大会」が開催されました。小学生スタッフは凧揚げ、中学生スタッフは飲食ブースや司会を担当しました。「凧揚げ」では晴天で風のない日でしたが、脇之島小学校の運動場にたくさんのカラフルな凧が空高く揚がっていました。「飲食ブース」では餅焼き、ぜんざいが振る舞われ、子ども餅つき体験、童遊びコーナーを設け地域交流の場としても大盛況でした。たくさん子どもスタッフがこの行事に自主的に参加し地域貢献に努めました。小学生も中学生もボランティア精神に満ち溢れている脇之島校区です。



笠原校区青少年まちづくり市民会議

春と秋に花いっぱい運動を行っています。

今年度は、50名を超える小中学生がボランティアで参加して、保護者も加わりみんなで一緒に協力して楽しくできました。種蒔きから苗の移植まで毎日の水やりは、授業の休み時間に交替でやってくれました。長期間のお世話は大変だったと思いますが、途中で枯れることなくよくできたと思います。自分たちの蒔いた種が芽を出し、やがて綺麗な花が咲くことを楽しみに愛情を込めて育てた花の苗は、春は福祉センターなど町の施設へ配り、また七夕まつりの会場で配り、秋はスポレクかさはらの会場で配り、それぞれ花の里親になっていただきました。

みんなの思いは届いたかな？ きっと各所で素敵な花が咲いたと思います。

参加してくれた皆さん、ありがとうございました。優しい思いやりの心をいつまでも持ち続けてほしいと願っています。

交流センターのマリーゴールドは2月の今でも咲いています。



わたしの主張2024 多治見市大会

令和6年6月15日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「わたしの主張2024 多治見市大会」を開催しました。

市内13小学校区の「わたしの主張 校区大会」において最優秀賞を受賞した小学生、中学生各1名、合計26名が多治見市大会に出場し、世の中の情勢について、未来への提案、家庭や学校生活、友だちとの関わりなどを通じて感じたことなどをテーマに、思いのこもった主張を繰り広げました。

来場者からは、子どもたちの活躍に対し、「子供達の身近な経験や生活の中での思いを主張につなげることのすばらしさを感じた」、「一生懸命さが伝わってきた」などの素敵な感想をいただきました。また、当日は、中学生のボランティアが運営を補助してくれたほか、アトラクションとして小泉ブラスバンドクラブが演奏を披露してくれるなど、多くの子どもたちが関わってくれました。



最優秀賞	氏名	学校名	学年
小学生の部	伊佐次 心	北栄小学校	6年
中学生の部	松岡 琉香	南姫中学校	3年

優秀賞	氏名	学校名	学年
小学生の部	董 翊源	小泉小学校	6年
	佐藤 万智	養正小学校	6年
中学生の部	鈴木みゆき	多治見中学校	3年
	松田 小春	多治見中学校	3年

多治見市青少年まちづくり市民大会

令和7年2月15日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「多治見市青少年まちづくり市民大会」を開催しました。

市民大会では、市内13小学校区にある校区まちづくり市民会議が順番で活動報告を行うこととしており、令和6年度は、共栄、昭和、小泉の3校区が活動内容を報告しました。各校区の活動報告は、子どもたちが中心となって準備から行っています。何度も修正やり取りを重ね、当日は各校区の特色ある活動を堂々と報告してくれました。また、会場入口には全校区の活動を紹介するパネル展示も行い、各校区の活動を広くPRしました。

当日は、活動報告を行ってくれた子どもたちの他にも、中学生ボランティア、アトラクションとして演奏を披露してくれた南ヶ丘中学校吹奏楽クラブの生徒など、多く子どもたちが関わってくれました。



令和6年度青少年育成功労者表彰

令和6年8月1日に、多治見市役所本庁舎において、青少年育成功労者表彰式を開催しました。

この表彰は、青少年健全育成や住みよいまちづくり活動に特に顕著な功績のあった個人、団体を多治見市青少年まちづくり市民会議会長（多治見市長）が表彰するものです。令和6年度は、個人6名と1団体が受賞されました。

なお、表彰式は、令和5年度から、市制記念日である8月1日に多治見市制記念表彰式と合同で開催することとしています。



令和6年度受賞者一覧

- 精華校区……鈴木 耕二、若尾 彰良
- 根本校区……木綿 富美子、坂崎 京子、高橋 重久
- 脇之島校区…大塚 龍男
- 滝呂町スクールガード

多治見市青少年まちづくり市民会議事務局

〒507-8787 多治見市音羽町1丁目233番地
 多治見市教育委員会事務局 教育推進課内
 TEL: 0572-23-5904 (課直通) FAX: 0572-23-5862
 メール: kyoiku@city.tajimi.lg.jp

「青少年育成だより」は13,150部発行し、1部あたり15.4円で印刷しています



植物油インキを使用しています。
 ※この印刷物を廃棄する時は、燃やさないで資源回収などに出しましょう。